

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2017
7

No.247



「大地と海をつなぐ植樹」
JA女性部の皆さん



「豊かな海と大地を次世代へ」

網走川の環境を守ろう！130人が植樹実施



ABASHIRI RIVER

SEA OF OKHOTSK



開会の挨拶を行う新谷哲章幹事長「この植樹活動が定着した事はとても嬉しい」と挨拶。
佐藤多一町長は町を代表として歓迎の挨拶。



農業者と漁協者の連携で

植樹活動定着

だいちとうみの会主催による「大地と海をつなぐ植樹」が6月20日、網走川最上地区河川敷で関係者130人が集まり390本の植樹を行いました。会を代表して新谷哲章幹事長は、「この植樹は平成元年網走漁協が始め、平成22年から『だいちとうみの会』を立ち上げ、23年からだいちとうみの会が主催して実施するようになり、この活動が流域に定着したことはとてもうれしい」と挨拶。また、地元を代表し挨拶した津別町佐藤多一町長からは、網走川流域の環境を守って行こうと毎年行っている今年で7年目となり、関係機関による参加のお礼と数多くの樹木が植樹されたことへの感謝を述べられた。

植樹に参加した団体は、網走漁協、

西網走漁協、JAつべつ、JAびほろ、JAめまんべつ、JAオホーツク網走、網走市役所、美幌役場、津別役場、大空町役場、網走建設管理部、網走開発建設部、網走森林組合、各JA女性部・青年部など130名が参加して、ハルニレ、ヤチダモ、ケヤキハンノキ、カツラ等を植樹。交流会は会場を移動してJA倉庫において、網走産のカニを全員で味わい漁業と農業の交流を深めました。





JA YOUTH

JA 青年部視察研修報告

JA 青年部(金一善紀部長)は参加者19名が6月12日から2日間の日程で札幌・帯広方面の視察研修を実施しました。

研修先

- ホクサン株式会社
- JA 北海道中央会
- JGAP 認証農場「ヴェール農場」
- 株式会社AIRSTAGE ドローン販売会社

研修内容一部抜粋

「JGAPとは」

(1)日本における様々なGAP

- ・第1者認証：自分で行うGAP※基礎GAP
- ・第2者認証：取引先とのGAP※イオン・生協等
- ・第3者認証：取引に関係の無い認証機関によるGAP

※JGAP グローバルGAP

(2)「信頼の約束」：農業を取り巻く認証

時代のニーズ 消費者の不安感と健康概念の変化による生産者の信頼と約束を求めている

●安心と安全の違いとは？

安心：気持ちで伝わるもの、安全：数値で見れるもの
どちらも大切にしていく事がGAPへの一歩

(3)GAPの最も大事なこと

- ①自分の農業の「危険」を感じる事→どんな危険があるか？
 - ・食品衛生上の危険・労働安全上の危険等
- ②お客様の「要望」を感じる事→よい「おつきあい」をする為に
- ③将来の地域の農業の為になる事→土を守る！水を守る！次世代の生活を守る！

(4)JGAPの2つの取組

- ・個別認証 1 経営体の中で、JGAPに取り組み、農場管理の仕事を改善する
- ・団体認証 JGAPに定められた農場管理の仕事を、団体事務局と各農場が分担して管理することになり、各農場の仕事の負担を軽減することができる



中学2年生総合学習

「津別町の農業の課題」「額に汗して、無言で働く事を体験してみる」を感じてほしい



津別中学校(垣内孝仁校長)2年生を対象に総合学習として、JAつべつからの申し出で始まった「農業体験学習」は今年も開始されました。今年のカリキュラムは座学と実習合せて延42時間の計画で実施されます。

6月9日、2年生29名を合同教室に集まり「津別町農業の実態と課題」と題して有岡敏也営農支援室長が先生となり2時間の授業を行いました。授業の内容は「JAとはどのようなものか?」「株式会社との違い」から始まり「津別町の農業の実態」や「TTPと暮らしへの影響」などの農業を取り巻く状況を説明。また、JAバンクDVD教材「農業とわたしたちのくらし」を鑑賞し農業が自分生活に身近な産業である事を説明しました。

今後、生徒たちは5班に分かれてグループを作り、畑作農家4戸、酪農家1戸でそれぞれ3日間の農業体験学習を行い、秋には収穫した農産物を使って「料理実習」と総合学習報告会として「津別農業の課題解決策」の発表が予定されています。

畑作、酪農農業体験学習始まる

津別中学2年生の総合的な学習の時間のテーマ「地域から学ぼう。津別の農業の現状と未来」であり津別町の農業の現状を知る学習。津別中学2年担任を代表として田中琴乃先生は農業体験学習は「額に汗して、無言で働く事を体験してみる」のがねらいです。「忍耐力や働く事の喜びを感じてほしい」

「農業や酪農を通して、命の尊さや自分の手で食べ物をつくる喜びを感じてほしい」と話していました。

6月16日、2年生29名は畑作農家4戸、酪農家1戸にそれぞれ5、6人のグループに分かれ農業体験学習を行いました。畑作農家ではカボチャの植付け、酪農家では牛舎の清掃と寝糞敷き、パイプラインの拭き掃除などほこりまみれの作業を体験していました。

次回の体験学習は8月を予定しています。



平成 29 年度「ふるさと塾」開校式



ふるさと塾 開校式

第2期生 新たな取組み入れたカリキュラムでスタート！

月 日 曜 日 時



J A つべつの第8次農業振興計画及び中期経営計画に基づき、津別町農業の担い手となる新規就農者を対象とした2年間の「ふるさと塾」が6月19日スタートしました。今回の入塾者については第2期生となり、新たな試みで女性農業従事者の入塾、農業の基礎的な知識・技術を学んでいく取組を実施。塾長である山下組合長からは「津別町の農業を担っていただく若い皆様には『農協』という組織に共に生きて、地域の活性化を図り発展させていく大きな役割を担っていただく事を期待したい。基礎になるのは困ったとき苦しいとき支え合うのは仲間です。その仲間づくりをこの塾で作り上げ、将来地域や農協を支える人となって頂きたい」と激励しました。

今年度の入塾生は新規就農者、法人構成員、女性農業従事者、日甜職員、役場農政担当職員、J A 職員も加わり16名。初回となる講義は「小麦の生育過程と栽培技術」について普及センター今野専門普及員が務め、「J A つべつの歴史、農協改革とJ A の役割」を有岡営農支援室長が講義を行いました。

また、圃場での栽培技術講義では下川貴弘農業士の小麦圃場にて普及センターによる小麦の育成過程や茎数の計算方法等を実際に麦に触れ研修を行いました。

研修の他にも入塾にあたっての目標や実現していきたいことなど皆で話し合うワークショップを行いました。



JA情報館

「刈払機作業者の安全衛生教育講習会開催」

平成29年6月2日、JA事務所3階会議室において、刈払機取扱い作業者の安全衛生教育講習会を開催しました。

労働安全衛生法では、刈払機を操作する際の資格として「事業者が労働者に刈払機を使用させる際には、刈払機取扱い作業者の安全衛生教育を受講させること」と規定されていることから、JAつべつが津別町広域協定運営委員会の協力を頂き、林業・木材製造業 労災防止協会 北海道北見分会 事務局長 有光孝義講師を招き、講習を実施いたしました。協会の長年にわたって培ってきたノウハウをベースにしたテキストを用いて、飛散防護カバーを外したままで刈払作業を行ない、事故を招く原因となっていることなど具体的な事故事例の説明を交え、刈払機の安全な使用方法や労働衛生安全法の学習を学科5時間、実技1時間の6時間に及ぶ講習を行いました。

今回の講習には組合員・法人関係者・JA職員など37名が参加され、講習を修了した受講者へは顔写真入りの修了証が後日交付されます。



JAつべつ青年部

「草刈活動実施親睦は恒例のソフトボール大会」

緑が濃くなるにつれて道路のわきの雑草も大きく伸びてくるこの季節。JAつべつ青年部(金一善紀部長)は、6月5日町の要請を受けて町内の清掃活動を行いました。実施場所は丸玉産業周辺、豊永のラグビー場奥の農道の草刈を実施しました。この日の午後から集まったのは部員24名、先週まで雨と低温が続き、足場の悪い傾斜地を等間隔に別れて草刈に汗を流していました。

農作業の合間をぬって恒例となりました親睦ソフトボール大会が町営球場で部員23名JA職員4名が参加して6月27日開催されました。

体を動かした後は、21世紀の森で焼肉を行いました。こちらもソフトボール以上に盛り上がり職員、部員共に親睦を深めていました。



軽トラ市開始「花・新鮮野菜が大人気」

さんさん館前広場で6月8日から今年も軽トラ市が始まりました。朝6時軽トラの周りにはお客さんが早くも集まり花の苗・野菜の苗を品定め。お客さんからは「スーパー販売価格より割安で販売されているし何より地元の農家さんが作ったものは安心です」と話していました。

軽トラ市は毎週火曜日と土曜日6時～7時、10月上旬まで開かれます。

七夕まつりと産業まつりにも出店を予定しております。



JA情報館

JA杯ゴルフコンペ「兼平 秀人氏優勝」

ノーザンアークゴルフクラブで6月10日開催された「JAゴルフコンペ」には、40人が参加して日頃の腕前が競われました。

この大会には網走漁協と西網走漁協も参加。大昭の兼平秀人さんが見事優勝に輝きました。また大会記念として折りたたみ自転車を増呈しました。

成績は次の通り

優 勝:兼平 秀人	2 位:樫 耕三
準優勝:村上 雅文	3 位:深田 知明
1 位:松橋 正樹	



兼平秀人さん(左)に佐野成昭職代より優勝賞品を渡される。

年金友の会情報

第2回 ゲートボール大会

開催日: 6月6日(火)

場 所: 津別町豊永室内ゲートボール場

優 勝: 山田(照)チーム

(山田 照夫・佐藤 朝代・和崎 トク
野本 弘子・川瀬 清)

準優勝: 佐藤チーム

(佐藤 輝久・溝渕サカエ・今井 保
吉江 利男・川口ヤク子)

3 位: 小野チーム

(小野 勇・三上 孝子・藤原 利信
浜口 直子・安田 君子)



第五回理事会報告

開催日
6月29日

報告事項

- ①平成29年5月末財務状況について
- ②平成29年度第1回内部審査並びに回答について
- ③平成29年度「体制整備モニタリング」について
- ④余剰金の運用実績について
- ⑤特定事業者作成書面(リスク評価書)の一部改正について
- ⑥各常任委員会の顛末について
- ⑦平成29年産ジャガイモシストセンチュウ検診結果について
- ⑧特定組合員の対応経過について
- ⑨各作物の状況及び生産団体の活動状況について
- ⑩各課報告事項

付議事項

- 議案第1号 平成29年度4月末自治監査結果について
 - 議案第2号 平成29年度農産物取引に伴う基準金利について
 - 議案第3号 人事規定、就業規則、準職員就業規則の改正について
 - 議案第4号 個人情報取扱規程等の改正並びに個人情報保護に係る従業員個人情報取扱規程の廃止について
 - 議案第5号 コンプライアンス規程の改正について
 - 議案第6号 大口資金の貸出について
 - 議案第7号 特定組合員の解除について
- 協議事項
- ①組合員交流会について
 - ②組合員戸別訪問の実施について
 - ③夏季懇談会の開催について
 - ④美幌広域連役員候補者の推薦について

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会



日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28・12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。

J A北海道信連

5月に、J A窓口職員のスキルを向上し、J A窓口をご利用いただく皆様のニーズに添えていく事を目的に「J Aバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。J Aバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。



ホクレン

ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、J A担当課へお問い合わせください。



J A共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、2022台を数えることとなります。

今後も行政やJ Aと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取り組みを強化し皆様の為に貢献して参ります。



J A北海道厚生連

北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいです。

J A2MP（ジエイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場します。皆さん是非会いに来てください。



コウセイくん



毎週金曜日は

お客様感謝day!!

ガソリン・軽油が
店頭価格の

引き!
3円/ℓ

みなさまの日頃のご愛顧に感謝をこめて、6月9日から7月28日の毎週「金曜日」はガソリン、軽油を店頭表示価格より3円/ℓ引きとさせていただきます。

注:上記期間等は諸事情により予告なく変更となる場合もありますので店頭にてご確認ください。

JAつべつ ホクレン津別セルフ給油所

津別町共和17番地2 ☎0157-76-2330 営業時間 7:30~19:30

貯金共済課からのお知らせ

JAつべつ サマーキャンペーン 2017
平成29年6月1日(木)~8月31日(木)
(正組合員・正組合員家族・准組合員に限りです)
※正組合員加入につきましては貯金窓口にてお手続きを付けておきます

定期貯金
10万円以上 1000万円未満
期間1年・2年 店頭金利0.01%×10倍 = 0.10%
期間3年 店頭金利0.01%×20倍 = 0.20%

他行からの預け替え 期間1年 0.3%!!

粗品プレゼント
100万円以上 新規契約のお客様に対して、
期間中1名様に限り1回 玉ねぎ10kgもしくは
馬鈴薯10kgを10月中旬頃にお届け致します。

定期積金
・契約額12万円以上
期間1年以上
金利 店頭金利0.01%×10倍 = 0.10%

対象条件
①対象者 個人(正組合員・正組合員家族・准組合員に限りです)。
②大口定期・スーパー定期・定期貯金・定期積金(満期は1年以上)。
③スーパー定期貯金・定期貯金・定期積金(満期は1年以上)。
④入金金額 1万円以上 1000万円未満の金額(正組合員・正組合員家族・准組合員に限りです)。
⑤入金条件を満たしたお客様は入金後10日以内にJAつべつへ来店し、入金確認を済ませてください。
⑥入金確認後、お申し込みの粗品を10月中旬頃にお届け致します。
⑦他行からの預け替えは、JAつべつへ入金後10日以内にJAつべつへ来店し、入金確認を済ませてください。
⑧JAつべつへ入金後10日以内にJAつべつへ来店し、入金確認を済ませてください。
※他行からJAに送金される方は、銀行JAが送金手数料を負担しますので、控えをお持ち
願います。尚、JA窓口での振込とさせていただきます。

津別町農協 ☎77-3170

JAバンク北海道 みんなでおいしい北海道
ドドーン(ちよ) キャンペーン 2017夏

定期貯金、定期積金を
一定の条件で
お預けいただいたお客様に
全道合計3,000名様にプレゼント!

キャンペーン期間:6/1(木)~7/31(木)

ドドーンと北海道産肉詰合せ (牛・豚・羊3kg)
A賞 200名様 (25,000円相当)
B賞 ドドーンと選べる! JA特産品3点セット 300名様
C賞 ドドーンと選べる! JA特産品1点 500名様
W賞 各賞にハズレもチャンス! JA特産品1点(または農産品券) 2,000名様

ドドーンと先着で! left・CHORIS
フロストボーチプレゼント!

クーラー(ラック&アイスバケツセット) 2名様

各種キャンペーン実施中!!

詳しくは店頭チラシ、又は貯金共済課までお問合せ下さい。

満期 確かな資産づくりに 安心保障がプラス

満期共済金
火災共済金

500万円
耐火造Aタイプ
(マンションなど)

年平均利回り

0.34%

お支払共済
掛金合計

4,832,438円

一時資金4,826,438円+年払掛金600円×10年

ご契約例

共済の対象
住宅内収容家財

住宅物件

臨時費用共済金の
支払割合10%

共済期間10年

口座振替扱い

共済掛金振替払特約付き

差額
プラス

167,562円

10年後

5,000,000円

平成29年4月現在

	耐火造A			耐火造B・C			木・防火造		
満期共済金	100万円	500万円	1,000万円	100万円	500万円	1,000万円	100万円	500万円	1,000万円
お支払共済掛金合計	972,814円	4,832,438円	9,649,549円	976,660円	4,845,324円	9,672,490円	998,498円	4,920,250円	9,805,453円
差 額	27,186円	167,562円	350,451円	23,340円	154,676円	327,510円	1,502円	79,750円	194,547円
年平均利回り	0.27%	0.34%	0.36%	0.23%	0.31%	0.33%	0.01%	0.16%	0.19%

※年払掛金を一括でお支払いいただくこと(前納)はできません(口座振替をご利用ください)。※年平均利回り=(満期共済金-お支払共済掛金合計)÷お支払共済掛金合計÷共済期間(10年)×100
小数点以下3桁目を切り捨てて表示しています(税引前)。※満期前の解約は元本割れすることがあります。※お支払共済掛金合計と満期共済金の差額は一時所得として所得税等・住民税の対象となります(平成29年1月現在の法令にもとづき記載しています)。

更に!

お支払共済掛金合計と同額以上の満期共済金をお受取り
いただける上家財の安心保障がセット!!

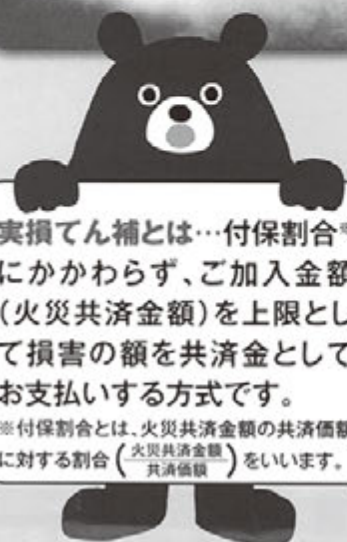
詳しくは
裏面へ



“実損てん補方式”の新登場により “安心保障”という利息がプラス!!

建物更生共済

My家財プラス



実損てん補とは…付保割合*
にかかわらず、ご加入金額
(火災共済金額)を上限とし
て損害の額を共済金として
お支払いする方式です。

※付保割合とは、火災共済金額の共済価額
に対する割合(火災共済金額
共済価額)をいいます。

例えば



お支払例

落雷により電化製品が故障
100万円の損害

支払額合計 **110万円**

火災共済金 100万円

臨時費用共済金 10万円

+ 残存物とりかたづけ費用共済金

しかも 部分損害なら
何度でも共済金をお受け取り
いただけます。また、共済金
をお受け取りいただいた場合であっても、
満期共済金はそのまま
お受け取りいただけます。

もちろん掛金も
そのまま
上がりません。



※臨時費用共済金: 火災等や風災・ひょう災・雪災・水害により損害を受けたときに生じる臨時の費用に対して、火災・風水災等共済金の額の10%(または30%)をお支払いします。(1回の事故につき、1建物について250万円が限度です。)
※残存物とりかたづけ費用共済金: 火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けた共済の対象の残存物のとりこわし費用、とりかたづけ清掃費用、搬出費用をお支払いします。(1回の事故につき火災・風水災等共済金の額の10%が限度です。)

お客様のニーズに応じた最適プランを
提案させていただきます。

お気軽に
ご相談ください。

●お問い合わせは

JA共済は、どなたでもご利用いただけます。お気軽にお問い合わせ下さい。



津別町農業協同組合 貯金共済課
TEL 76-3322

詳しくは当JAまで
お気軽に
お問い合わせください

この資料は概要を説明したもので
です。ご検討にあたっては、「重要
事項説明書(契約概要)」を必ず
ご確認ください。また、ご契約の
際には、「重要事項説明書(注意
喚起情報)」および「ご契約のし
おり」の取扱いを必ずご確認ください。

17010011030



7月の主な行事



7月10日	月	企画会議 先進的豆類準備委員会	25日	火	日甜4ヶ町村作況調査
11日	火	地区施防協中間検討会			管内購買連携会議
12日	水	甜菜振興会役員会	26日	水	クレードル取締役会
13日	木	小麦収穫委員会	27日	木	
14日	金	経営移譲者他慰労会	28日	金	
15日	土	組合員交流会	29日	土	
16日	日		30日	日	
17日	月	海の日	31日	月	グリーンズ取締役会・株主総会
18日	火	肉牛振興会交流会	8月1日	火	組合長説明会議 常務参事説明会議
		年金友の会 囲碁大会	2日	水	年金友の会 ゲートボール大会
19日	水	連合会意見交換会 役員協議会	3日	木	
20日	木	玉葱振興会役員会	4日	金	年金友の会役員会義
		年金友の会 パークゴルフ大会	5日	土	七夕まつり
21日	金	理事会 玉葱精算総会	6日	日	
22日	土		7日	月	
23日	日		8日	火	
24日	月		9日	水	

組合員交流会



イベント
バレーンショー
流しうどん
青年部女性部イベント

日 時

平成29年7月15日(土)
午前11時30分受付開始

会 場

活汲多目的倉庫

発行 津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通33番地
☎0152-76-3322 FAX0152-76-3594 貯金共済直通電話 0152-77-3170
印刷 有限会社 サンケイプリント社

JAつべつ | 検索

<http://www.jatsubetsu.or.jp>